

教育課程概念図（生活デザイン学科 カリキュラム・マップ）

ディプロマ・ポリシー

教育目的

大阪成蹊学園の建学の精神「桃李不言下自成蹊」および行動指針「忠恕」に基づき、本学科は、生活全般に対する理解を深めながら、衣の領域において快適な衣生活を創造し、アパレル・ファッション業界で活躍できる「人間力」を備えた人材を育成することを教育目的としています。

確かな専門性

1. 日常の衣生活における衣服管理の基本的な知識・技能を身につけている。
 2. 和、洋の衣服制作における基本的な知識・技能を身につけている。
 3. ファッションビジネスの基本的な知識を身につけている。
 4. 家庭生活における家政学的基本知識を身につけている。また、各コースで身につける知識と技能は以下のとおりです。
- ・アパレル・スタイリストコース
アパレル・ファッション分野の根幹である衣服制作およびデザインの専門的素養を身につけ、周辺の関連ファッション領域にも目を向け、トータルファッションを理解する。
 - ・ファッションコーディネートコース
ファッション業界の全般的な概略を幅広く学び、将来の目的に応じて制作やデザイン力の専門技術を修得することで、トータルファッションを理解する。

社会で実践する力

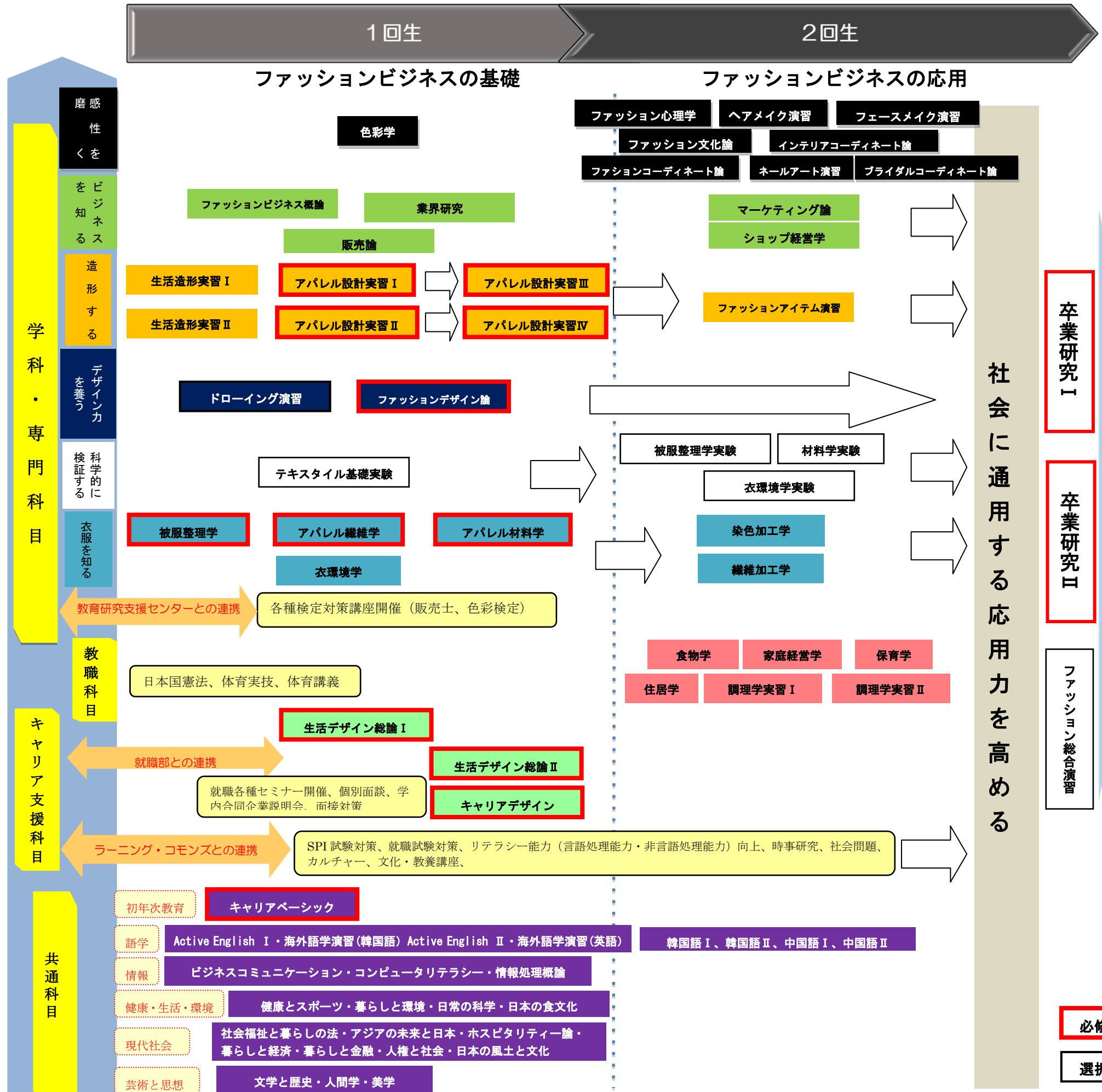
1. 独立分業制が中心のアパレル・ファッション業界のなかで、自己が就職の中から業界の課題を発見し、解決と業界発展に向けて取り組むことができる。
2. アパレル・スタイリストコースにおいては専門技術のスキルアップを目指し、ファッションコーディネートコースにおいては、ファッションビジネスに対して常に興味と向上心を持ち、何れも継続して自己研鑽を図ることができる。

協働できる素養

1. アパレル・ファッション業界が分野ごとに分業制によって成り立ち、それぞれの分野の相互理解の上に同業界が成り立っていることの理解を持ち、他者と協働して取り組むことができる。
2. 自身の置かれた立場と相手の立場を理解して互いに尊重することができる。

忠恕の心

1. 常に相手の気持ちを理解し、お互いを尊重して社会生活を送ることができる。
2. 社会生活の中で、自己の意思をはっきりと主張しつつ、周りの人の意見にも耳を傾け冷静に物事を判断できる。



卒業研究Ⅰ

卒業研究Ⅱ

ファッション総合演習

必修科目

選択科目

桃李成蹊人

社会に通用する応用力を高める